

# 古典文化同好会 能楽班部誌 演目紹介



@灘校文化祭 weave

かるた&折り紙班

# 雪

## 物語

舞台は大阪の野田。ある旅の僧が野田を訪れたとき、穏やかな空に突如、雪が降り始めました。そこで僧が一時休んでいると、どこからか女が立ち現れてきました。女は、自分が何者であるかわからず悩んでいるということを僧に打ち明けます。実は、この女は雪の精でした。僧は女に仏の功德を信じれば成仏できると説き、女はそれに対する感謝の気持ちをもって舞い、雪のように消えていきます。今回はこの最後の舞を舞います。

雪の精は常にゆったり、細やかに動き、肌にそっと触れる雪のような気持ちをもって演じたいと思います。

## 注目ポイント！

出だしのシテ（主役の舞い手）による謡では、柔らかな伸びをどこまで実現できるかに注目してください！

舞では、腕を広げたり閉じたりすることが多く、その一連の動きに雪の精のはかなさをどうのせるのかに注目してください！

# 春日龍神

## 物語

鎌倉時代に実在した明恵上人という有名な僧をもとに作られたお話です。明恵上人は京都にいた優れた仏僧でした。彼は中国にわたり仏教を勉強することを決意し、渡航する前に奈良の春日大社を参詣します。しかし、そこに龍神が現れ、上人に入唐（中国に渡航すること）をやめることを求めました。お釈迦様が入滅してからとても長い年月が経ち、今中国、インドを訪れてもご利益は少ない、そして日本には仏教にまつわる場所も増えたのだから他国へ行く必要はないと、国の宝である商人を引き留めたのです。上人は納得して入唐をやめ、龍神は威厳良く空を舞います。

## 注目ポイント！

今回舞う場面では、龍神が舞台いっぱい空を翔けまわす。龍神の大きな体を力いっぱい動かすようなダイナミックな動き、くるくると渦をなすような動きにご注目ください！

雪



春日  
龍神